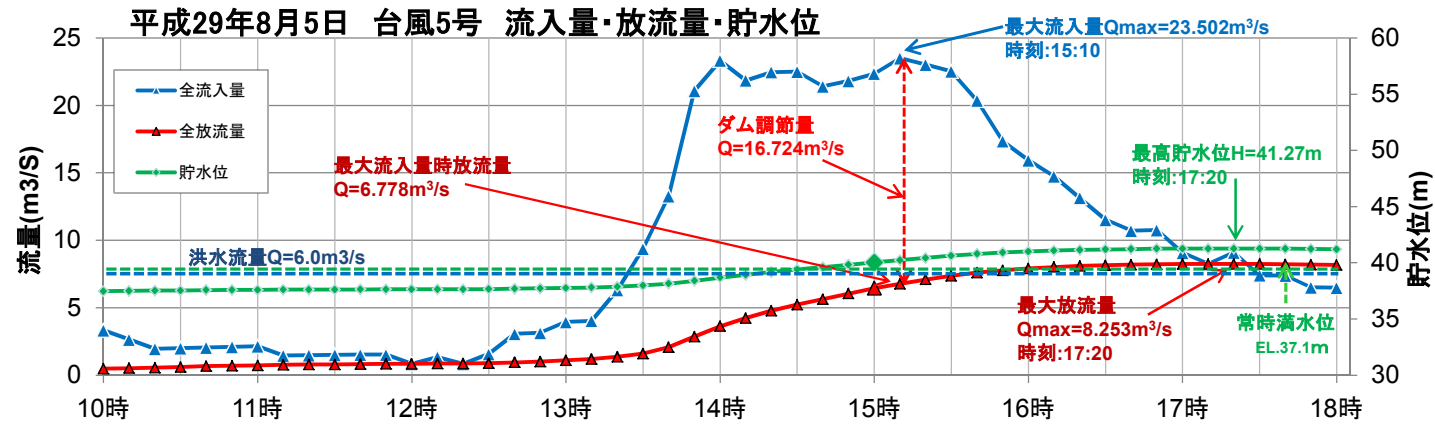


二級河川大和川水系三田川 大和ダムの効果(平成29年8月5日 台風5号)

○二級河川大和川水系三田川大和ダム上流域において、8月4日14時の降り始めから8月5日18時まで総雨量が374mm、最大時間雨量が63mmとなるなど、台風の動きが遅く断続的に非常に激しい雨が降り続いた。

○今回の洪水期間中において、最大393,000m³(25mプール約728杯分)の水を貯留し、下流の洪水被害の軽減を図った。

○ダム下流の瀬佳橋地点では、約20cmの水位を低減させる効果があったものと推測。

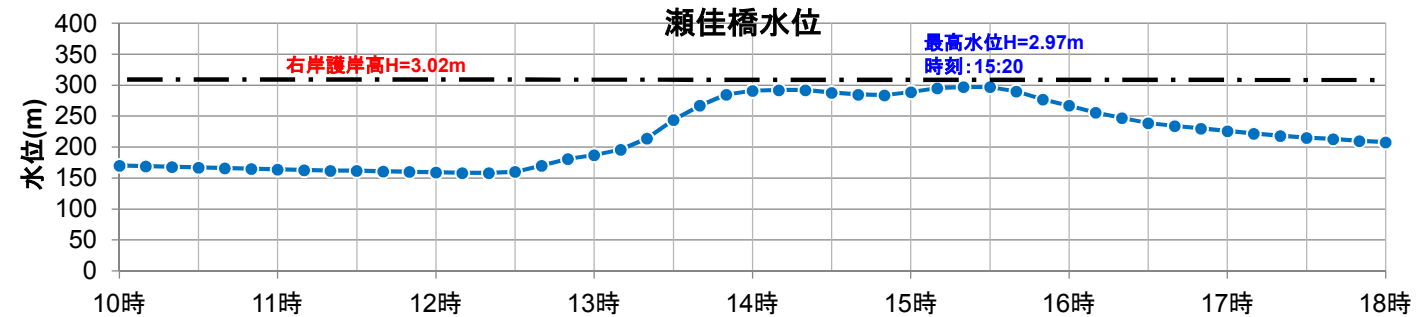


瀬佳橋地点の水位

ダム整備前: 3.19m

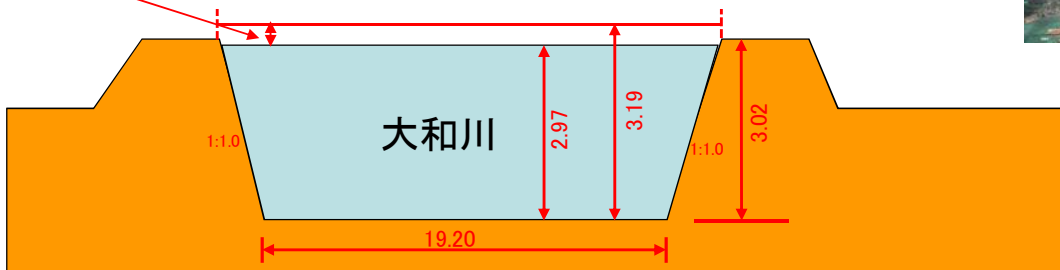
ダム整備後: 2.97m

→約20cmの水位低減



大和ダムで最大約16.7m³/秒に相当する量を貯留し、下流へは約6.7m³/秒しか流さないようにできたことにより、大和川の水位を約20cm下げる効果がありました。

また、ダム直下流の三田川においては、約1.5m下げる効果がありました。



▽ダム天端	EL50.0m		
▽サーチャージ水位	EL47.0m	洪水調節容量	517,000m ³
▽常時満水位	EL37.1m	河川環境の保全	111,000m ³
		新規開発	93,000m ³
		最低水位	EL30.6m
		▽基礎岩盤	EL 5.0m
		堆砂容量	63,000m ³
		水利容量	204,000m ³
		有効貯水容量	721,000m ³
		総貯水容量	784,000m ³